

平成 29 年度第 2 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 29 年 9 月 16 日（土）午前 10 時～12 時

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

3 出席者

（委員）押樋委員長 小出副委員長 豊永委員 立松委員 須賀委員
西村委員 高橋委員

（事務局）中央図書館長 中央図書館副館長 総務係長 総務係主査
奉仕第 2 係長

4 傍聴人 1 人

5 議題

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度蔵書点検について
- ② 夏休みの行事实施状況について
- ③ 平成 28 年度及び 29 年度図書館自己点検評価について

（2）協議事項

- ①中央図書館大規模改修事業について

6 議事の概要

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度蔵書点検について、事務局より報告を行った。
- ② 夏休みの行事实施状況について、事務局より報告を行った。
- ③ 平成 28 年度及び 29 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

（2）協議事項

- ①中央図書館大規模改修事業について、事務局より説明を行い、協議を行った。

7 会議経過

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度蔵書点検について事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）この不明率は低いと考えてよいのか。

（回答）一般的に公表されている数字ではないので、他市との比較は難しいが、

低いと考えている。

(意見) 一般的には1~3%程度だと言われている。

(質問) 不明というのはどういうものか。

(回答) なんらかの理由で紛失しているもの、貸出時の人為的ミスによる手続き漏れ、他の分館等に誤ってまぎれているもの、等が考えられる。

(意見) 一般的には低い数値であることはわかったが、やはりこれだけの不明資料があることは問題である。原因をつきとめて、解消するべきではないか。

(回答) ご指摘の「問題がない」という表現が、報告として適切でないという点については重く受け止めたい。他の館や書庫等に紛れているケースも多々あるため、蔵書点検は、本来であれば全資料を一斉に行わなければならない。休館日をそれほど長く設けることは、市民の利便性に支障があるため、部分的に行わざるを得ない状況である。

いずれにしろ、図書館資料は市民の財産であるので、適正な管理を行っていきたいと考える。

(意見) 資料の適切な管理という意味で提案したいが、返却期限が近づいたらメールで通知してくるというサービスがある。これはそれほどコストもかからないし、導入してはどうか。

不明資料の冊数だけを見ると大きいように思うが、これを0にするためにあまりにもコストがかかるようでは本末転倒である。マクロな視点で対策を講じてほしい。

(質問) 集密書庫の不明率が、7月から8月に大きく減じている理由は。

(回答) 児童書のストック用資料の資料管理における管理の不手際が原因と考える。今後解消していききたい。

② 夏休みの行事实施状況について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) 図書館クラブの参加年齢はどうだったか。対象は小学5年生から高校生となっているが。

(回答) 比較的幅広い年齢層からの参加があった。中高生の参加もあった。

(意見) 図書館サポーターズも増え、冬のおたのしみ会への参加など、子どもたちの励みにもなっている。

(意見) ジャズ&クラシックナイトは新しい企画だそうだが、とても良い企画だった。

(回答) 今、音楽をこういう空間で大人数で聴く体験はないので、良い企画だったと思う。子どもの参加もあった。

(意見) 視聴覚室を使わずにラウンジで行ったというのがおもしろいと思うが、何か理由があるのか。

(回答) オープンなスペースで、飲み物も出せる環境で行いたかった。

(意見) 音響はどうだったか。

(回答) それほど悪くなかったと考える。

(意見) 時流に乗った非常に良い企画だった。次を期待されるのも無理はないが、職員が手をかけるのは大変だろう。市民の愛好者の手を借りてはどうか。図書館事業は、市民参加が少ないので、ぜひ検討してほしい。

(意見) 市民参加もいいが、今まで図書館界全体でおろそかになってきていた視聴覚資料についての司書の知識やスキルを磨く機会にもしてほしい。企画がスキルにもフィードバックできると良い。

(意見) 子どもの本の講座に参加したが、今回は子どもも参加できる講座で、講師と子どもたちの掛け合いがとても楽しく、活発な講演会だった。

③ 平成 28 年度及び 29 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) ホームページがとても見やすくなっていて、書庫展示もわかりやすい。図書館ではツイッターも始めていて、とても楽しく見ている。児童サービス関係のツイートが多く、類縁機関へのサービスが毎日あるのがよくわかる。その日のトピックスもあって楽しい。児童サービス以外のツイートも、今後期待したい。

(意見) 日の出分館がとても狭くて、かわいそうだと感じる。児童図書のコナーが、図書館の外にはみ出している。

(回答) 人口に比して狭隘であることは承知している。生涯学習部の中でも課題として受け止めている。現在は、公民館のロビーを借りて少しでも拡張をし、児童コーナーを設置している状態である。

(2) 協議事項

① 中央図書館大規模改修事業について事務局より報告を行い、協議を行った。その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 駅前サービスセンターとは、マーレの他にどこがあるのか。

(回答) 浦安駅前と舞浜駅前にある行政サービスセンターである。

(質問) 設計の入札はどういう方法で行ったのか。

(回答) 指名競争入札である。あくまで改修工事なので、全体の面積や工事の期間、図面数などの仕様による。

- (意見) 落札した業者は、この図書館を作った会社であり、浦安の図書館はこの会社の代表作である。作った会社が大規模改修を手掛けることになり、とてもいい改修になると期待している。
- (質問) ハード面よりもソフト面が重要であると考えているが、それに基づいて業者を決めたわけではないのか。
- (回答) 新しい施設を作る場合はコンペ等を行う場合もあるが、大規模改修は入札が一般的である。改修内容については、今後請負業者と詰めていく。
- (意見) 具体的なビジョンを見られるのは来年の12月くらいになるということか。休館はそのあとからか。
- (回答) その予定である。
- (意見) 市民の意見は直接サービスに関わると思うが、書庫の機能は図書館サービスの上で大変重要である。書庫の機能の充実を要望したい。
- (意見) 全体の工程表も見せてほしい。
- (回答) 今後、お見せできると思う。
- (質問) 駐車場はどこにできるのか。
- (回答) 現在、公用車を駐車している図書館の裏のスペースに設置する予定である。
- 他にもご意見等あれば、次回の会議までに出していただきたい。

以上